

---

# すごい生徒会長さんとやればできる副会長さん

もひふる

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

すごい生徒会長さんとやればできる副会長さん

### 【Nコード】

N0537BA

### 【作者名】

もひぷる

### 【あらすじ】

才色兼備、容姿端麗、文武両道、聖人君子と言った褒め言葉をすべて兼ね備えている四條学園の生徒会長“藤堂綾乃”と、その生徒会長に振りまわされちゃう残念な、でもやればできる副会長“犬塚真也”が学園のために精一杯頑張る？ ハラハラどきどきワクワクする？な学園ストーリー！。

## 第1話 天下無敵の生徒会長さん

才色兼備、容姿端麗、文武両道、聖人君子。とまあ、様々な褒め言葉がある

しかし、天は二物を与えずと言ったような言葉もあるようにすべてを備えた人間はいないのだ

そう、表面上は良くても中身が最悪ってことはよくあること例えば、この人が良い例だったりする

「早く早く早く早く早くうー」

僕の横でバタバタと高そうな椅子の上で暴れる

この椅子の上で暴れているのは才色兼備、容姿端麗、文武両道、聖人君子と言った褒め言葉をすべて兼ね備えた超完璧星人であり、身長167cmにボンツ！キュツ！ボンツ！とアイドル並みのスタイルを持ち、腰まで伸びる綺麗な髪は濡れ烏のような髪色、彼女の笑顔を見れた日には天使が舞い降りたとまで言われちゃったりして、我が「しじょうがくえん四條学園」の生徒会長の座を1年の時から就いていて、3年も確実と言われていたりする。

まあ、生徒会長が成績優秀で見た目が良ければ学校側としても宣伝では最適だしね

そんな学校側をも味方に付けてしまふ彼女の名前は藤堂綾乃とうどうあやの

「会長、静かにしてください」

「早く早く早く早くううう！喉乾いたああ」

「うっさいな…僕ので良いなら飲んで良いですから静かにしてください」

手元に置いてあるパックのオレンジジュースを彼女に渡すとも  
すごい勢いでパックがクシャリと潰れる

この野郎…普通全部飲むか？あと躊躇なしにストローに口を付け  
やがった…

「ぶっはああ、喉が潤うね〜」

僕のあげたオレンジジュースをポイツとゴミ箱の中にダイレクト  
チップインさせて満面の笑みで俺にお礼を言う

こんな綺麗な人に笑顔で言われたらほとんどの男性は許してしま  
うだろう

しかし、僕はそんな甘ちゃんではないのだ

「その喉が潤ったならさっさと仕事をしてください。書類が溜まり  
に溜まっているんですから」

ドサツと笑顔を振りまく会長の机にその笑顔を隠すほどの高さを  
持つ書類の山を置く

どうしてこんなに書類が多いのかというと、学校が行うイベント  
の権利を生徒会がほぼ持っているから。

始業式、終業式、体育祭、文化祭、その他色々。あと生徒会が自  
ら計画するのであれば新たなイベントを作っても良いという非常に  
自由度の高い学校だ。それ故に生徒会の重要性が高まり、生徒会長  
の座に就く者は恐ろしいプレッシャーを伴う。

簡単に分かりやすく言うと、学校の総理大臣みたいなもので生徒  
会員は各大臣みたいなもの

生徒会の支持率が落ちれば夏休みだろうが、テスト期間中だろう  
がなんだろうが生徒会員選挙が行われる。

もちろん、これだけ言えば生徒会に入るなんてデメリットでしか  
無いのだが、メリットも存在する

まず受験時の面接での評価がグンツと上がる。それこそ、他の高校の生徒会長なんて比にならないぐらい。過去に1年間、生徒会長の座を維持したOBが大学入試の際、履歴書に「生徒会会長」という肩書を書いただけで入学決定の通知が来たり、なんて事も。それだけ四條学園の生徒会長という立場は高く、社会的認知もあるため名誉なのだ

そんな名誉職に2年連続で就いて、3年目も確実に2年に上がる前から言われ続けている彼女は別格と言っていていいだろう。

「最近さ、特に多くなったよね。これ」

「それは貴方が無駄にイベントをやるうとするせいです」

「でも面白いでしょ？皆喜んでくれるし、今年の新入学生は昨年より1.4倍だよ？いやあまいったね、私の実力が底知れない」

「僕は貴方のその自信が底知れない。貴方のその無駄なイベントのせいで今月の予算はギリギリです」

「ほら、そこは副会長の君がやるべきことなんだと思うんだ。私はイベントを企画、その裏で君がせっせと…」

「はたき倒しますよ？」

会長だろうが先輩だろうがこの際関係ない。

僕のできる最大の憎しみを込めた笑みで微笑みかける

するとさっきまでペンをクルクルと器用に手の上で回していた会長はピタッと遊ぶのを辞めて、山のように積もった書類を処理し始めた

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能<sup>たんのう</sup>してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n0537ba/>

---

すごい生徒会長さんとやればできる副会長さん

2012年1月1日02時47分発行